



PRESS RELEASE

2022 年 5 月 24 日

株式会社オギノ

オギノ、太陽光発電を 14 店舗に導入

2022 年度中に、店舗屋根に自家消費型設備を設置し、CO₂ 2,800 トンの削減を目標

株式会社オギノ(本社:山梨県甲府市、代表取締役社長:荻野 寛二、以下「オギノ」)は、「オギノ環境方針」に基づき、店舗運営に伴う CO₂ 排出を削減する取り組みの一環として、店舗建物屋根に自家消費型太陽光発電設備を 2022 年度中に 14 店舗導入する計画です。これにより年間約 4,300,000kwh の発電が見込まれ、火力発電による発電と比較して約 2,800 トンの CO₂ 排出量の削減を目標としています。

オギノは、山梨県、長野県、静岡県に食品、住居関連品、衣料品を販売するスーパーマーケット、衣料専門店を合わせて全 45 店舗展開しています。オギノは、循環型社会の構築を目指し、SDGs の考え方を取り入れ CSR 活動に取り組んでいます。その一つとして、SDGs が掲げる目標 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標 13「気候変動に具体的な対策を」などを意識し、2020 年度より太陽光発電事業に取り組んでいます。

これまでの 2 年間で 7 店舗に設置し、年間約 1,400,000kwh を発電し、約 900 トンの CO₂ を削減してまいりました。これは、杉の木約 65,000 本分、杉の木の森林面積に換算すると東京ドーム約 8 個分の年間 CO₂ 吸収量に相当します。今年度は更に 2 倍の 14 店舗に導入することで、設置店舗は 21 店舗となり、年間発電量は約 5,800,000kwh、CO₂ 排出量の削減量は約 3,700 トンとなります。年間の CO₂ 吸収量は、杉の木約 260,000 本分、東京ドーム約 34 個分に相当し、発電された電力は全て設置店舗にて自家消費します。

また、SDGs が掲げる目標 12「つくる責任つかう責任」などを意識し、食品トレーや牛乳パック、ペットボトル、缶、古紙のリサイクルに注力しています。2019 年以降は、古着や布団、段ボールの回収も行っています。プラスチックの削減にも力を入れており、2005 年 10 月よりマイバッグ持参運動(レジ袋削減)に取り組んでいます。来店するお客様にマイバッグの利用を促進しており、2021 年度の食品関連売場でのマイバッグ持参率は 88.4%でした。

オギノは、「食・住・衣を通じて、変化するお客様の日常生活を絶え間なく支え、創造し、豊かにする」を企業使命とし、今後も地域社会を支える小売業として、お客様やお取引先様と一体となっ

て環境に配慮した活動を推進してまいります。

■2022年度の太陽光発電設備の導入店舗一覧

設置店舗	発電開始	設置店舗	発電開始
峡西店(南アルプス市)	2022年3月	中富店(南巨摩郡)	2022年6月予定
笛吹店(笛吹市)	2022年3月	向町店(甲府市)	2022年6月予定
リバーシティ店(中央市)	2022年5月	韮崎店(韮崎市)	2022年6月予定
双葉店(甲斐市)	2022年5月	都留店(都留市)	2022年6月予定
諏訪店(諏訪市)	2022年5月	甲州店(甲州市)	2022年6月予定
田富店(中央市)	2022年5月	田野倉店(都留市)	2022年度中
南部店(南巨摩郡)	2022年6月予定	イーストモール店(甲府市)	2022年度中

■店舗画像

《峡西店》



《リバーシティ店》



以上